

2019年度 環境活動レポート

(2019年2月1日～2020年1月31日)



発行日 2020年3月31日

**株式会社
いそのボーダー**

〒990-2226 山形市西越25番地
TEL 023-624-1711 FAX 023-632-0681
<http://www.isono-body.co.jp>



認証・登録番号 0007795

目 次

ご挨拶	1
1. 組織の概要	2
2. 対象範囲	3
3. いそのボデー環境経営方針	4
4. 環境経営目標(単年度及び中長期目標)	5
5. 環境経営活動計画	5
6. 環境経営活動の取組と結果	6
7. 各結果と取組の評価、次年度の取組内容	8
8. 2019年度取組のご紹介	12
9. 社内表彰	15
10. 環境関連法規等の遵守状況、苦情訴訟等の有無	17
11. 代表者による見直しの結果	17
12. エコアクション21環境経営の新展開構想	18

ご挨拶

当社は、1964年(昭和39年)に設立し、1980年(昭和55年)で現在の株式会社「いそのボデー」に社名変更して、今年で57周年になります。これもひとえに皆様のご愛顧、ご支援の賜物であると感謝しております。

私たち、いそのボデーは、セキュリティという昨今最も重視される観点で開発した、全く新しい発想のトラックボデーiSkip、大手ボデーメーカーには出来ないトラックユーザーのニーズに合わせたカスタマイズ仕様、またユーザーの視点に立ったアフターサービスの提供とお客様の満足を何よりも優先することにより、個性あるトラックボデーメーカーとして、日々さまざまな挑戦を続けています。

当社がエコアクション21に取り組み始めたのは、2011年3月ちょうど東日本大震災の時でした。その頃は計画停電などで節電を余儀なくされ、いかに節電したらよいかなど苦労したことを思い出します。また産業廃棄物の分別の徹底、材料の歩留まり率を上げる取り組みや車体塗装に使用する有機溶剤の削減などは品質を維持しながら取り組んでいます。

気候変動に伴う異常気象で大規模な自然災害など、私たちを取り巻く環境も大きく変わり、企業の責任も大きくなっています。当社はこれから業務を通して環境に配慮したトラックボデーの開発設計等を提供し、お客様のご期待に添えるよう努力してまいります。

また、地域の皆様とともに、社会貢献活動にも積極的に取り組んでいきたいと思いますので、ご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2020年3月31日

株式会社いそのボデー



代表取締役 磯野栄治



1.組織の概要

1-1. 事業所名及び代表者名

- 株式会社 いそのボデー
- 代表取締役 磯野 栄治

1-2. 所在地

- 本社・工場 〒990-2226 山形市西越25番地

1-3. 環境管理責任者及担当者連絡先

- 環境管理責任者:架装部長 石井 崇
- 連絡担当者 :人事・総務部長 本間 久美
- 連絡先・TEL023-624-1711 FAX023-632-0681
- Email:kumi.h@isono-body.co.jp

1-4. 設立年月日

- 1964年(昭和39年)2月

1-5. 資本金

- 3,630万円

1-6. 事業活動の内容

- トラックボデーの製作
- 車検代行
- 自動車整備
- 自動車保険代行

1-7. 事業の規模

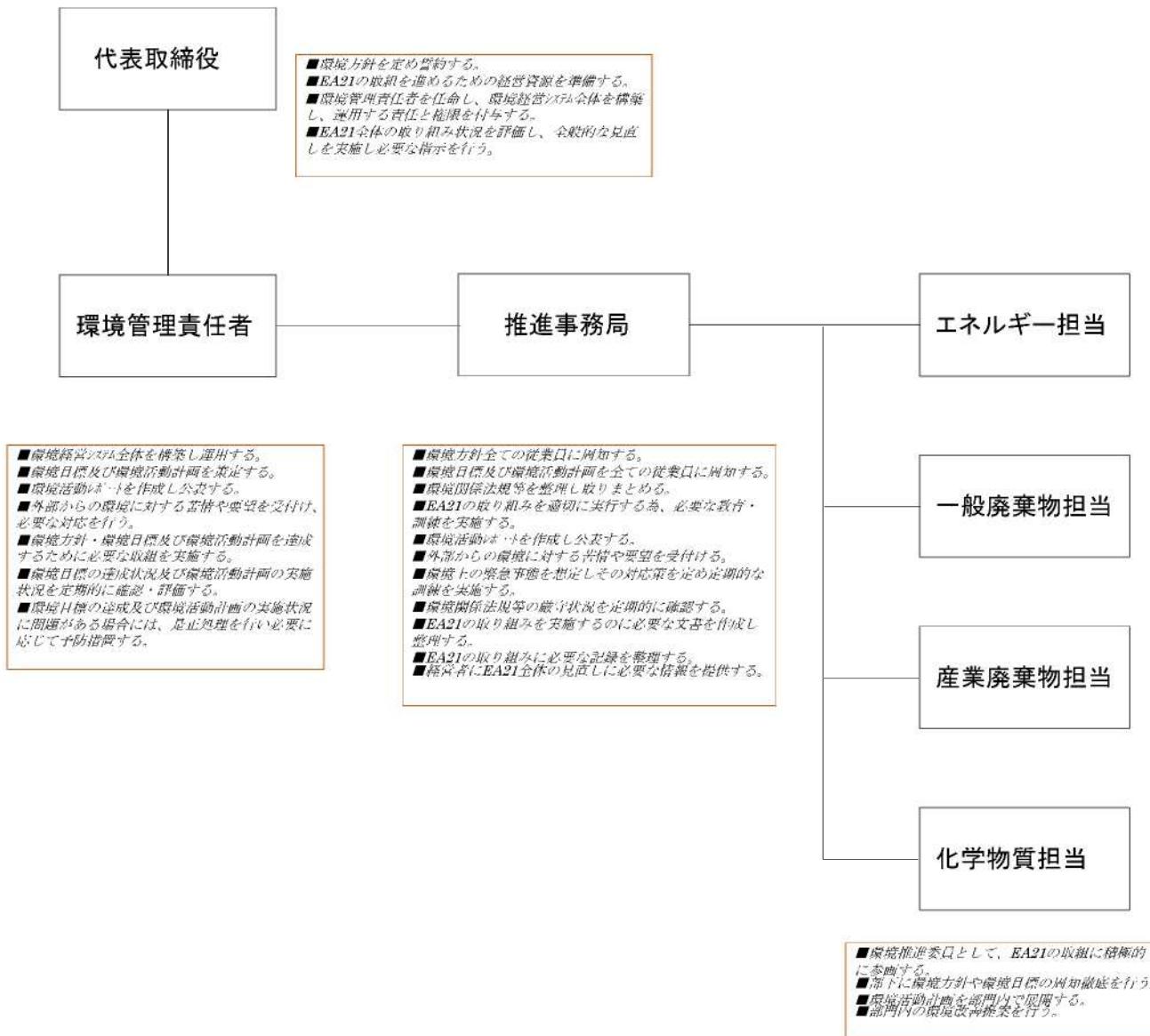
事業年度	2017年度 (2017.2~2018.1)	2018年度 (2018.2~2019.1)	2019年度 (2019.2~2020.1)
事業規模の指標			
売上高(百万円)	1,906	1,937	1,737
従業員数(人)	94	97	96
整備車両台数(台)	3,948	3,701	3,588

注)売上高、整備車両台数の実績は、当社会計年度(当月2月~翌年1月まで)による

2. 対象範囲

登録範囲は本社を対象とし、登録内容は事業活動内容とする

■ 実施体制及び役割・責任・権限



3. いそのボデー環境経営方針



◆ 環境経営理念

私たち、いそのボデーは全人類が直面している地球温暖化問題を私たち自身の問題と認識し、多様なトラックボデーの開発設計・製造・メンテナンスに関わる事業活動を通じ、長年培ってきた技術力を駆使し、環境面においても高機能、高付加価値のトラックボデーを開発製作して参ります。

また、エコアクション21環境経営システムを構築・運営し、環境への取り組みを継続的に行います。

◆ 環境経営行動指針

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 省エネルギー活動を推進し、電力、化石燃料の消費に伴う環境負荷の削減に努めます。
3. 水使用量、廃棄物の削減、リサイクルの推進に努めます。
4. 有害化学物質の使用量削減と適正管理に努めます。
5. 3S(整理・整頓・清掃)活動を推進し、作業効率の向上を図ります。
6. チョコ案(改善提案)制度の推進によって、環境経営改善活動の活性化を図ります。
7. 働き方改革を進め、働きやすい環境作りに努めます。
8. ふるさと山形の環境保全活動に積極的に貢献していきます。

改定: 2019年2月1日

制定: 2011年3月1日

株式会社 いそのボデー
代表取締役 磯野 栄治

4. 環境経営目標（単年度及び中長期目標）

環境目標		単位	2016~2018 年度 平均	基準			中期目標		
				2019年度 (2月~1月)	2020年度 (2月~1月)	2021年度 (2月~1月)			
二酸化炭素総排出量の削減		kg-CO ₂ /月	144,258	142,815	141,387	139,973			
1	1. 電力使用量の削減	kwh/月	273,777	271,039	268,328	265,645			
	2. ガソリン使用量の削減	L/月	15,136	14,984	14,834	14,686			
	3. 軽油使用量の削減	L/月	5,105	5,053	5,003	4,953			
	4. 灯油使用量の削減	L/月	52,100	51,579	51,063	50,552			
	5. LPG使用量の削減	kg/月	1,107	1,095	1,084	1,073			
2	一般廃棄物	t/月	17,146	16,974	16,804	16,636			
	産業廃棄物	t/月	155,638	154,081	152,540	151,014			
3	総排水量 (水使用量)	m ³	1,743	1,725	1,708	1,691			
4	化学物質(PTR法対象)	kg	4,338	4,294	4,251	4,208			
5	社員チヨコ案提出率100%の継続	%	100	100	100	100			
6	山形エコアクション21 対応目標		環境NPOの支援・協力						
			年2回(5月・10月)会社周辺の清掃活動を実施する						

※購入電力CO₂排出係数は、イーレックスの平成29年度の係数0.501kg/kWhを用いた。

5. 環境経営活動計画

活動・取組目標	活動の具体的な内容	担当者
■化石燃料の使用量の削減		
1)灯油	* 暖房用:冬期間、事務所の室温を20°Cを目安に管理する。 * 工場内:ジェットヒーターのスイッチをこまめにON/OFF	室内在室者 担当者
2)軽油・ガソリン	* 車両日報を準備し、車両ごとの燃費や整備状況を管理する。 * エコドライブ研修会を実施する。	車両管理責任者 環境管理責任者
■電力使用		
1)工場での使用	* コンプレッサー:毎月1回、エア漏れをチェックする。 * 照明器具:休憩時、無人の場合など、照明を消す * 電気使用機器全般:効率的な使用、こまめなON/OFF	現場管理者 最終退出者 電気機器使用者
2)事務所での使用	* 事務所の室温を暖房時20°C、冷房時28°Cを目安に管理する。 * 不要な照明は消すなど、節電を徹底する。 * PCを省エネモードに設定し、長時間席を離れるときは電源を落とす。	在室者 PC使用者
■廃棄物の排出量の削減		
1)一般廃棄物 可燃ゴミ・段ボール類 カン・ペットボトル	* 分別のルールを決め、そのルールを守る * 自販機から出たカンやペットボトルは、専用の回収容器に入れる * 不要なカタログ、資料はなるべく持ち込まない。 *マイ水筒運動の展開	全員 利用者全員 全員 全員
2)産業廃棄物 廃プラ・金属くず・廃油	* 廃棄物の種類ごとに可能な限り、分別を徹底する。 * マニュフェスト管理を徹底する。 * 産業廃棄物保管場所の5S管理の徹底。	全員 総務・廃棄物担当 全員
■水道の使用量削減	* 手洗器水栓の吐量の適正化 * 洗車時の節水協力要請	環境推進委員
■化学物質の使用量の削減	* 特化則・PRTR法に対応するアイテムへの転換	化学物質担当
■チヨコ案提出率100%の継続	* 全社員月1件以上のチヨコ案の提出を継続する	全員
■地域の環境保全	* 会社周辺の清掃活動	全員

6. 環境経営活動の取組と結果

環境負荷の現状と推移（環境負荷自己チェック結果より）

■ 二酸化炭素排出量

エネルギー資質	2017年度	2018年度	2019年度
電力	127,545	118,227	122,792
軽油	14,082	13,954	11,995
ガソリン	35,911	32,160	29,844
灯油	139,602	119,002	110,090
LPG	6,978	7,078	5,254
CO2排出計	324,118	271,528	279,975



1)当社における2019年度の二酸化炭素排出量は合計約280tとなっており一般家庭(年間5.0tJCCCA:全国地域温暖化防止活動推進センター)の56軒分の排出量に相当していました。また、2013年度(基準年度351t)と比較すると71t減少しました。一般家庭14軒分の減少となりました。

2)2019年度に排出される二酸化炭素の56.1%は化石燃料の使用に伴うもので、その中でも灯油が39.3%を占めております。

3)灯油は、冬場の車体塗装作業時において、塗料の乾燥用に使用するほか工場や事務所の暖房用にも使用しています。今年の冬は積雪が少なく暖冬であったことも灯油の使用量の削減につながったと考えられます。

4)灯油以外の化石燃料では軽油12t、ガソリンが30tとなっています。軽油は冬の除雪作業のために除雪車用にも使用しています。

5)電力の消費による二酸化炭素排出量は、122tで43.9%の割合になっています。2018年度と比較すると3.7%増加しました。残業時間が増えたことつながっていると考えられます。

※電力の二酸化炭素換算係数は平成20年東北電力の数値(0.469kg-CO₂/kWh)を使用しました。



★2017年～3年間の売上高と残業時間及び1ヶ月平均電気使用量を比較しました。

2019年は残業時間の増加に伴い電気使用量も増加しました。

■ 産業廃棄物排出量

一般廃棄物は紙類(廃コピー用紙、段ボール類)がほとんどで、すべて再生利用されています。有価物である鉄くず、アルミくずを除いた産業廃棄物では、木くず22.8t、廃プラが18.9t、汚泥7.7t、廃油が6.8t、金属くずが3.5t、鉄くずが91.1tとなっています。廃プラは焼却処理または埋立処分、廃油、廃シンナーは焼却処分されています。再生利用しているのは、木くず、有価物(鉄くず、アルミくず)などで、リサイクル率は75.5%となっています。



■ 総排水量(水使用量)

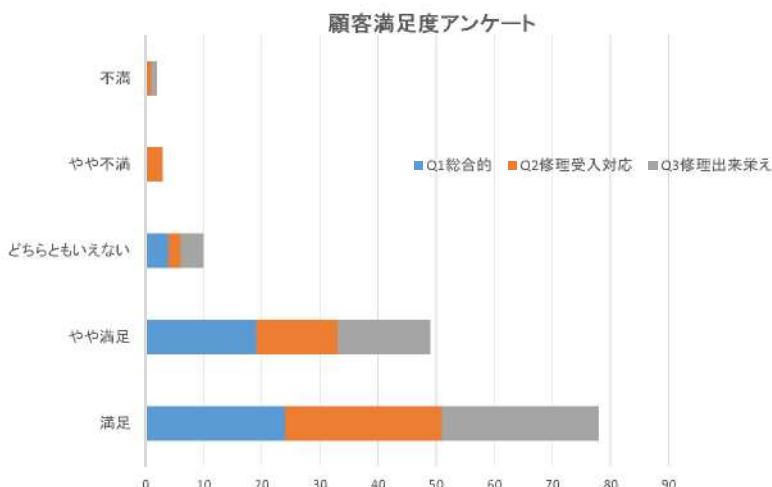
年間の水の使用量は2343 m³で、生活用水の他、洗車、高圧シャワー試験などに使用しています。昨年と比較し増加が激しかったので調査してもらったところ、工場内配管の水漏れが判明し、修理工事しました。

■ 化学物質使用量(購入量)

主に塗料の中に含まれるPRTR対象物質について、その購入量と含有率からトルエン並びにキシレン等の購入量を集計しました。最も多いのは、トルエンで1.6t、キシレンは1.1tとなっています。塗装作業で使用されることから排出先は大気となっています。



■ 環境の取組の他に今年度は、修理対応時のお客様へアンケートを実施し、結果を集計しました。



【ご意見・ご要望をいただきました】

- ・冷凍機故障時正確な助言いただき感謝します。
- ・スタッフ対応に満足しています。
- ・荒井さんや松山さんが素早い対応で助かっています。
- ・丁寧な対応で感謝しています。
- ・要望に一緒に考えて対応してくれいつも助かっています。今も変わらぬ対応よろしく
- ・架装や修理時に専門家としてのアドバイスを素人ユーザーに理解してもらえるまで説明していただいている
- ・フロントの対応が素晴らしい。土曜日の営業が増えれば、なおよい
- ・いつもきれいに修理していただきありがとうございます。

7.各結果と取組の評価、次年度の取組内容

◆ 二酸化炭素排出量(電力使用)

2018年度		2019年度			評価
実績	目標	実績	増減		
118,227	117,044	122,792	+4,565	×	

【目標】2018年比 1%削減

● 取組の評価

昨年より4,565 kg-CO₂ の二酸化炭素が増加で、目標を達成することができませんでした。残業時間の増加が原因と思われます。



◆ 二酸化炭素排出量(化石燃料)

2018年度		2019年度			評価
実績	目標	実績	増減		
172	170	157	-15	○	

【目標】2018年度比 1%削減

● 取組の評価

二酸化炭素排出量(化石燃料)は昨年に引き続き削減となり目標達成となりました。毎年行われるエコドライブ研修会により社有車に使用するガソリンが削減できたことや、除雪量が例年になく少なかつたことで除雪車に使用する軽油量の減少によるものと考えられます。



★ 次年度の取組

車両の買い替え時は、低燃費車の購入やエコドライブ研修会の実施を継続し燃費向上に努めます。

内容 エコドライブ研修会実施

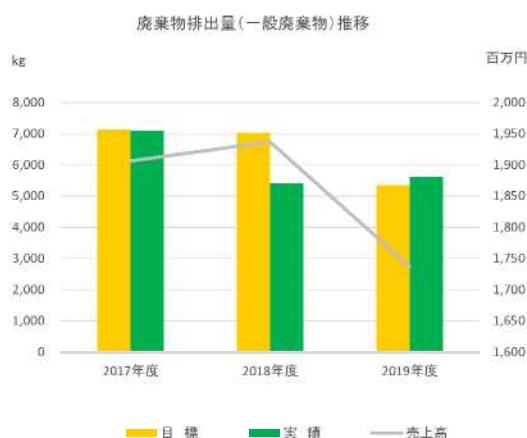
アイドリングストップの実施

車両管理者による車両点検

車両購入時に低燃費車両の検討

◆ 廃棄物排出量（一般廃棄物）

2018年度		2019年度			評価
実績	目標	実績	増減		
5,410	5,356	5,610	+200	×	



【目標】2018年度比 1%削減

● 取組の評価

昨年度より200kg-CO₂増加してしましました。廃棄物排出量は主に梱包用のダンボールになります。また事務所で使用するコピー用紙等の裏紙使用や不要な紙類は専用の箱を設置し100%リサイクルに回しています。

★ 次年度の取組

コピー用紙の再利用や無駄なごみを出さないように徹底していきます。

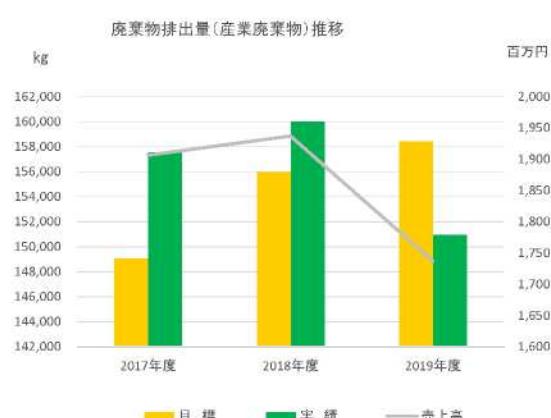
内容 分別の徹底

社内資料の白黒印刷、両面印刷の徹底



◆ 廃棄物排出量(産業廃棄物)

2018年度		2019年度			評価
実績	目標	実績	増減		
160,016	158,415	150,977	-9,039	○	



【目標】2018年度比 1%削減

● 取組の評価

昨年度は昨年実績を9,039kg-CO₂減少することが出来、目標を達成しました。売上高の減少によるものと、分別の強化によるものと考えられます。リサイクル率も75.5%と昨年より1%上がり、目標の65%を達成することができました。木くずが多く、すべてリサイクルされています。今後もしっかりと分別し維持していきます。

★ 次年度の取組

端材の歩留まり率を考慮した部材加工や分別を徹底し、リサイクル率を上げていきます。

内容 分別の徹底

分別ルールの教育



産業廃棄物	リサイクル率
2017年	77.5%
2018年	74.5%
2019年	75.5%

◆ 水使用量

2018年度 実績	2019年度			評価
	目標	実績	増減	
2,004	1,983	2,343	+339	×

【目標】2018年度比 1%削減

● 取組の評価

2019年度は昨年度に比べ339m³増加しました。

原因は工場敷地内で水道管からの水洩れでした。水は、生活用水の他に製造前後の新車と整備車の洗車に使用されます。製造後のトランクボデーには水漏れがないかを自家製のシャワーテスト機を利用します。これは雨水及び水道水を使用します。テスト機のエア混合率を高め、水の使用量を抑えるようにしております。



◆ 化学物質使用量

2018年度 実績	2019年度			評価
	目標	実績	増減	
4,915	4,865	3,711	-1,204	○

【目標】2018年度比 1%削減

● 取組の評価

昨年度より1,204kg減少しました。(この数値は購入量となります。)
エコシンナーや特化則対応の塗料を使用することで化学物質使用量の削減の取組を継続しています。



★ 次年度の取組

水性塗料の技術調査による有機溶剤の使用料の削減に努めます。

内容

- ・特化則・PRTR法に対応するアイテムへの転換
- ・有機溶剤特殊健康診断の実施
- ・特別化学物質健康診断の実施

◆ 社員チョコ案提出率100%の継続

【目標】全社員 月1件以上提出する



● 取組の評価

2019年度は1739件のチョコ案が提出され、2012年1月からチョコ案活動を開始し、2014年以来100%の提出率を継続しています。

★ 次年度の取組

継続して月一人1件以上提出を目指します。

内容
・環境に関するチョコ案の募集
・健康に関するチョコ案の募集
・提案内容の向上

※ チョコ案の中から、月間賞及び年間表彰を行っています。



チョコ案発表会の様子 「各係の代表者が発表」

◆ 地域の環境保全(山形エコアクション21対応項目)

【目標】年2回(5月、10月)会社周辺の清掃活動を実施

2019年5月と10月に毎年恒例のゴミ拾いを延べ人数180人が会社前の国道13号線から山形自動車道の側道付近まで実施しました。ゴミ拾いだけでなく国道沿いの歩道の掃き清掃も行いました。来年も実施します。



8. 2019年度取組のご紹介

環境コミュニケーション

■会社見学者の受入

2019.11.29 株式会社三陽製作所様



2019.12.12 山形県立寒河江工業高等学校様



2020.1.31 山形市立滝山小学校 5年生のみなさん



※当社のトラックボンバー製造及び3S活動・チヨコ案制度等の会社見学会は随時受入れております。

環境保全活動(教育訓練)

○ エコドライブ研修会 令和元年11月22日 (山形県自動車公益センター様)



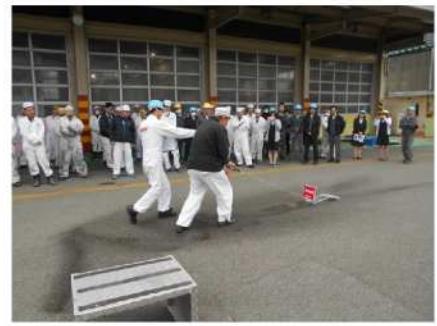
2100年の天気予報??



内 容：まず、一人ずつ普段通りに運転して各燃費を出します。次にエコドライブの研修を受けます。その後、再度運転します。

結 果：研修を受けた後は、ほとんどの人の燃費が向上しました。環境にやさしい運転を身につけることができました。

○ 緊急事態発生への訓練記録 (大地震による火災発生) 令和元年10月29日



内 容：架装工場E3エリアより出火。メンテナンス工場でタンクローリー修理中のため、引火爆発の危険性大の想定で避難訓練及び初期消火訓練を実施しました。

結 果：避難経路の確認及び人員点呼や消火器の使用方法を再確認し緊急事態にそなえました。

○ 57期 経営計画発表会

令和2年1月25日



内 容：経営計画発表会の中で、環境方針及び目標、計画を全社員へ周知しました。

結 果：全社員で環境方針等を共有できました。

○ カエル会議の開催

令和元年8月～

働き方改革をどう進めるか ⇒ チームを作り、ボトムアップのミーティングを開催

通称（カ・エ・ル会議） 各作業場においての課題を見つけ、お互いに話し合い解決策を見つける！
誰でも話やすい環境を作り、それぞれのアイディアを創出し無駄のない働きやすい職場環境を作ります。
各チーム名を決め、そのチームのゴールイメージをみんなで決定し取組みます。
「チーム魔術師」「Drメカニック・匠」などユニークなチーム名もあり、楽しみながらミーティングを行っております。



働き方を「変える」、早く「帰る」、人生を「変える」



○ 健康教室開催

令和元年10月24日開催

日頃の運動不足を解消するために、外部のインストラクターをお招きし、健康教室を開催しました。

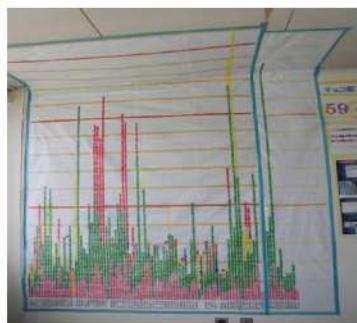
【足腰力が寿命を延ばす！？自重エクササイズでコツコツ貯筋！】



9. 社内表彰



社員一人が月1件以上の提出100%を2014年5月から59ヶ月連続達成しています。
これまで述べ1万7千件以上のチョコ案が出されています。
また、年度末に年間表彰を行い、2019年は下記のチョコ案が社長賞等を受賞しました。



天井まで伸びたグラフ

【年度別個人のチョコ案グラフ】
☆2019年度は桃色

○ チョコ案年間表彰

令和2年1月25日



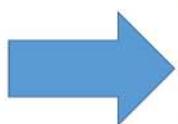
チョコ案 2019社長賞！

改善前:縦根太を並べて5~6個所メジャーで寸法を測っていて歩く無駄が多くかった。また、横根太を組み込むと干渉し幅がずれて苦労していた。

改善後:幅だし治具を工作し、ワンタッチで幅が出せるようになり、メジャーで図って、いちいち確認しなくともよくなったことにより、歩く無駄や工数を削減できるようになった



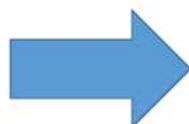
メジャーで計測



チョコ案 2019優秀賞！

改善前:オイル交換時、容器を手で持っているので、この作業しかできない。

改善後:マグネット式の台座を工作。オイルが抜けるまで次の作業ができるようになった。



○ 3S活動年間表彰

令和2年1月25日

1年間の3S委員会を中心に活動した中で、最も優秀であった2部門に優秀賞が授与されました。

■ 購買部

部品庫の整理・整頓により一目でわかる在庫管理を行い、ムダの出ないように購入していることが評価されました。

お客様が部品を受け取るカウンターをきれいに整頓。



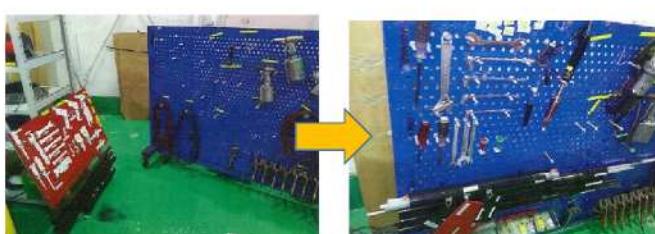
BOXでは数を数えにくいので、BOXから出して、重ねることにより在庫数が一目でわかるようになった。



雷裝係

広い作業場に引っ越ししたことにより、不要物の廃棄と形跡整頓で共有化を図り作業効率UPに努めたことが評価されました

移動に伴い共有工具を形跡整頓しました。



広い作業場の危険個所にテープを貼り、安全対策を取りました。



○ ビジネスキャリア検定

令和2年1月25日

2017年からそれぞれ希望するビジネスキャリア検定試験に、社員自ら挑戦しています。

ついに2019年に「1級生産管理スペシャリスト」に合格した社員が誕生しました。

社内資格取得者掲示板



10.環境関連法規等の遵守状況、苦情訴訟等の有無

5-1. 該当する環境関連法規等とその遵守状況

当社では、下記の環境関連法規が適用されますが、2016年2月1日付でその遵守状況を確認した結果、問題ありませんでした。

- 廃棄物処理法 ■自動車リサイクル法 ■フロン回収破壊法 ■家電リサイクル法
- 大気汚染防止法(VOC関係) ■悪臭防止法 ■PRTR法
- 水質汚濁防止法(油水分離層) ■浄化槽法
- 騒音規制法・振動規制法(山形県生活環境の保全等に関する条例)
- 消防法並びに山形市火災予防条例 ■高圧ガス保安法 ■労働安全衛生法(有機則)

5-2. 苦情・訴訟の有無

環境面での訴訟は、創業以来ありません。また、外部からの環境に関する苦情は、過去3年間ありません。

11.代表者による見直しの結果

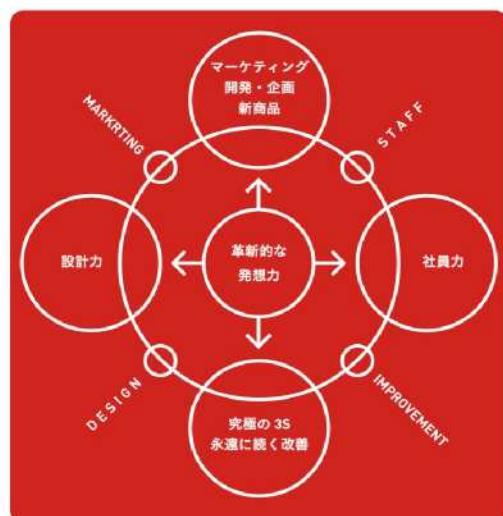
2019年度は、2020年4月施行の働き方改革の準備期間として取り組みをはじめました。残業時間の上限制度や有給休暇取得推進などにより、経営維持のためには一層の生産性効率化を図らなければなりません。社員によるボトムアップを図る「カエル会議」により作業の無駄や前工程への要望事項など、社員一人一人のアイディアと技術力によった工程削減から省力化を進めております。また、前年に続き全社員参加型の3S活動やチョコ案活動の活発化と3レス(設計レス・スキルレス・シャーシレス)による作業効率UPが良い結果に繋がると確信します。これらの省力化によって原価の低減に努め、弊社の高品質な製品を提供する事により顧客満足度を向上させ、より一層の環境経営を推し進めていく考えであります。また、地域の皆様のお役に立てるように年2回の会社周辺清掃活動を全社員で9年間継続して取り組んでおります。次期は、これまでの取り組みを継続するとともに、働き方改革に社を挙げて取組み、効率的な業務の推進と社員のゆとりの時間の両面を追求することでも、環境に好影響となるよう努めて参ります。環境管理責任者をはじめ各推進委員及び事務局は次年度も継続して取り組み、環境経営をさらに進めしていくことを期待します。

12.エコアクション21環境経営の新展開構想

エコアクション21(EA21)ガイドライン2017年版は、これが企業価値を高めるツールとして機能することを目的としています。したがって、EA21の認証・取得事業者における環境経営の目的は企業価値を高めることです。当社、㈱いそのボデーがEA21環境経営において目指す企業価値は、次のように考えることができます。

“トラックボデーおよびその発展応用多機能製品である保管BOXの提供を通じて、収益体質堅持の下、持続的に発展、社会に貢献するリーディングカンパニー”

これに関する事項は企業案内の『代表挨拶』及び『経営理念』に記載されています(『付図1. 企業理念概念図』参照)。



付図1. 企業理念概念図

EA21環境経営によって企業価値を高めようとする場合、企業価値を構成する具体的要素(企業価値決定要素)を明確にし、その内容充実に努めることが求められます。このように、企業価値はそれら企業価値決定要素に関する取組み活動の総合結果として現れるものであると考えられます。

各企業価値決定要素に関連する事項(これが具体的な環境経営計画に相当する)は多岐にわたります。当社の場合、『企業理念概念図』に記載された事項が企業価値決定要素と密接に関係します。『企業理念概念図』を基に、またEA21ガイドライン2017年版の要求事項を参考にして企業価値決定要素を次のように決定しました。

付表1. いそのボデー(株)が考える企業価値決定要素

No.	企業価値決定要素	関連事項等
①	製品（商品）の開発・販売	商品・サービスラインアップ, 製造・販売力, 顧客満足
②	施設・設備管理	導入・維持
③	リスク管理	緊急事態, 自然災害, 社会動向
④	コンプライアンス	法令遵守, 社会的責任
⑤	コミュニケーション	組織力, 地域・社会連携
⑥	人間尊重	労務管理（働き方・福利厚生・健康管理）, 労働安全・衛生
⑦	総合的環境経営管理	収益性, 事業活動の環境負荷評価) EA21 環境経営活動の推進

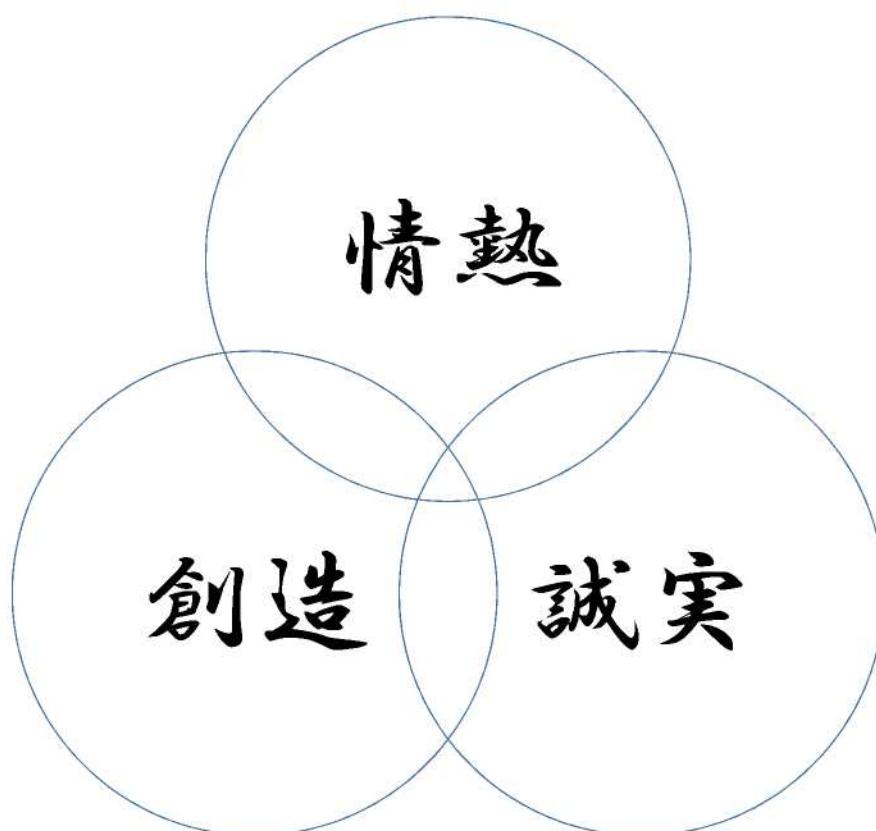
エコアクション21環境経営では、①二酸化炭素排出量, ②廃棄物排出量, ③水使用量, ④化学物質排出量削減を目指して活動することが必要条件として求められています。このうち、二酸化炭素排出量を例に考えると、これは電力や燃料の使用量によって決まるために、エコアクション21環境活動では、多くの場合、照明や動力の効率的使用、エコドライブ等の“節約活動”を具体的な環境経営活動として取り上げられています。しかし、製品不良率を下げるこによって無駄な作業を削減すること、製品歩留まりは同一でも使用設備、製造方法、技術熟練度によって作業効率が変化し、これによても環境負荷は異なる。自然災害に対する備えが不十分であったために想定外の環境負荷が発生することも考えられます。このように一口に“環境負荷”と言っても、これに関連する事項は多岐にわたります。

したがって、仮に“エコアクション21の目的は環境負荷の削減である”と考えた場合でも、この環境負荷に関連する事項は極めて多岐にわたります、むしろ事業活動（会社経営）で実施している全ての事項が環境負荷の決定に関わると考えるべきです。企業価値を高めるツールとしてエコアクション21を機能させるためには、事業活動で実施している事項を企業価値決定要素別に徹底的に抽出・整理し、そのうち事業経営にとって重要な事項を環境経営計画として取り上げること、また電力使用量、廃棄物排出量のような環境負荷項目と1対1の関係で環境経営計画は策定しないことが“企業価値を高めるツールとしてのエコアクション21”にとって相応しいものであると考えられます。付表2は、事業活動で実施している事項を企業価値決定要素別に整理したものです。

付表2. 企業価値決定要素への具体的対応

No.	企業価値決定要素	具体的対応事項	詳細
①	製品（商品）の開発・販売	商品・サービスラインアップ充実	自社営業、ゴールドラベル
		力量向上	従業員採用、技術研修、3レス活動、マニュアル整備
		環境負荷削減	CO ₂ 排出量（電力、燃料）、廃棄物排出量、水使用量、化学物質使用量
②	施設・設備管理	施設・設備の導入計画	前期集中的に行ったので維持管理
		施設・設備の使用及び維持管理方法	法定点検・年次点検・特定自主検査等・月次設備点検表活用
③	リスク管理	緊急事態対応（環境汚染、自然災害）	想定と未然防止策、対応訓練
		B C P	新型コロナ対策を踏まえ自社B C Pを策定
④	コンプライアンス	環境関連法規等の一覧表作成と更新	廃棄物管理、危険物管理、PRTR 対応
		従業員教育、法定要求事項への対応	品質方針の策定周知・法令勉強会の実施
		製品の安全性の追求と検査体制の充実	入出庫時の検査体制・アフターサポート
⑤	コミュニケーション	従業員教育、情報の共有化	教育計画、全社集会、定例会議
		改善提案	チヨコ案
		情報収集	業界団体への参加・各種セミナー・講演会の参加・JCOMaaS活動参加・J-GoodTech（ジェグテック）活動参加
		地域連携・貢献	会社周辺清掃、交通安全呼掛け
		情報公開・発信	会社案内（PROFILE）、環境経営レポート、ホームページ（ https://www.isono-body.co.jp/ ）
⑥	人間尊重	働き方改革；働きやすい職場	カエル会議の実施と活動資金支援によるコミュニケーション向上 カエル会議共有会の実施・全社員と面談実施
		健康・安全・衛生管理	3S活動、職場巡視、健康診断、作業環境測定、エコドライブ研修会
		労働安全衛生	
⑦	総合的環境経営管理	環境経営システムの構築・運用	EA21認証・登録、経営理念、経営方針・目標・計画
		目標管理と評価	

エコアクション21に関する基本的な考え方を上記のように変更すべきであると、2019年12月に実施されたエコアクション21更新審査において審査員から指摘されました。2019年度環境活動レポートはこの審査員指摘を受けた時点で推進していた活動計画に基づくものであり、したがって2019年度環境活動レポートは従来の構成を踏襲して作成しました。今後は、本章に記載したエコアクション21環境経営に関する新しい考え方に基づいて環境経営目標および環境経営計画を策定し、その活動結果をそれに相応しい構成の環境経営レポートに取りまとめる予定です。



—Creative Planning—

私たち、いそのボデーは、個性あるトラックボデーメーカーとして、さまざまな挑戦を続けています。

この環境レポートは、ご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は、本社窓口でお申し出くださいか、下記に
ご連絡ください。
また、エコアクション21中央事務局のHP
(<http://www.ea21.jp/>)でもご覧いただけます。

〒990-2226 山形市西越25番地
株式会社 いそのボデー
TEL023-624-1711 FAX023-632-0681